

## 公園マスタープランに関するヒアリング調査 公園管理者ヒアリング結果まとめ

### 1. 調査の概要

- (1) 目的：利用者が「楽しい」「訪れたい」と感じられる魅力ある公園づくりを進めるための「（仮称）江東区公園マスタープラン」策定にあたり、江東区の公園を管理する事業者等の意見を把握し、今後の公園整備や管理運営の取組み検討の参考とする。
- (2) 方法：区内公園管理者にヒアリングを依頼。区立公園管理者には対面によるヒアリング、都立・海上公園管理者にはヒアリングシートを配布し、回答を依頼。
- (3) 対象：区立公園管理者：3団体、都立・海上公園管理者：7団体 計10団体
- (4) 期間：令和7年11月下旬～12月上旬
- (5) 主な内容：（1）年間の来園者数・来園者の傾向  
（2）来園者から多い意見・要望等  
（3）公園の管理・運営にあたっての課題等  
（4）区立公園：都立公園との差別化や大切にしている事、力を入れている取組み  
都立・海上公園：広域から人々を呼び込む魅力、力を入れている取組み  
（5）管理運営をするうえで感じる近年の公園整備や管理・運営、活用方法などのトレンド・ニーズ等

### 2. 結果まとめ

#### ■ 来園者の傾向・利用状況

- ・年間来場者数は公園によって大きく異なり、数万人から100万人超まで幅広い
- ・利用者層は、ファミリーや高齢者、子ども、若年層、インバウンド（外国人観光客）など多様
- ・利用目的は、遊具・BBQ・スポーツ・散歩・自然観察・イベント参加など多岐にわたる
- ・休日やイベント時は特に利用者が多く、平日は近隣住民や学校利用が中心

公園分類	利用状況	来園者の傾向
区立公園	—	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 周辺住民の方やカヌー利用者（学校含む）、カフェ</li> </ul>
	—	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 週末が特に多く、夏は夕方から、冬は日中の過ごしやすい時間帯の利用が特に多い</li> <li>・ 芝生広場が綺麗で特に利用が多く、施設ではカフェやレストラン、ドッグランの利用が特に多い。BBQは時期に左右されるが根強い人気。乗船場も有しており週末を中心に体験会やイベントで賑わい有</li> <li>・ 公園の特徴としてランニングや釣りでも一年を通じて多くの利用者がある</li> <li>・ 毎週末公園企画の定期イベントは行っているが、持ち込まれるイベントも多く、毎年レポートで開催されるイベントの要望が多い（スポーツイベント、お祭り）</li> </ul>
	—	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 年齢層の偏りはなく、ベビーカーの子どもからからお年寄りまで来園する。</li> <li>・ 利用目的は散歩利用や、東西に長いため通り抜け、運動施設もあるためスポーツ利用や、15時過ぎには遊具に子どもが集まる。</li> <li>・ 子どもは学校帰りの平日に多く、日中のフットサル利用は週末が多い。パターゴルフ場は年齢層が高め。カヌーは夏限定だが、夏休みには利用者が多い。特にカヌーは手軽で低価格で体験できる場所というニーズがある。</li> <li>・ 人気施設は、パターゴルフ、じゃぶじゃぶ池、カヌー、水上アスレチックなどの運動施設。ただし、水上アスレチックに関して、水質の問題は懸念される。</li> <li>・ 年に2回行うマルシェも人気。</li> <li>・ 高速の下という立地では夏場は日よけスポットとして人気。</li> </ul>
都立・海上公園	約126万人（令和6年度）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 駐車場利用により区内外から来園され、平日は遠足や校外学習、散歩等、休日は余暇・BBQ等による多くの方に利用されており、小学生までの幼児・児童、ファミリー、高齢者が多く散見される。ランニングや犬の散歩で</li> </ul>

		訪れる方も多い。 <ul style="list-style-type: none"> <li>人気の施設は大型遊具（アスレチック広場）やBBQ場、大きな広場（自由の広場）、運動施設（テニスコート、小野球場）。</li> <li>自主事業（イベント）としては、自然観察会、星空観察会、遊びキャラバン（こいのぼり作り・Xmasリース作り・ミニ門松作り・凧づくり）や季節の装飾（七夕・おぼけカボチャ・Xmas）などが人気。</li> </ul>
約83,000人 （令和7年4月～10月）		<ul style="list-style-type: none"> <li>都内からの来園者が一番多く、来園者の割合は江東区が約15%、江東区以外の都内が55%。</li> <li>年齢層は40代が一番多く、次に30代、50代の順が多い。</li> <li>利用目的は「家族と友人との遊ぶため」が一番多く、「散歩」、「風景」、「自然観察」の順が多い。</li> <li>来園者は土日祝が多く、大型複合遊具があるワイワイ広場が特に家族連れでにぎわっている。</li> </ul>
81,678人 （令和7年4月～10月）		<ul style="list-style-type: none"> <li>区内で特に近隣の方が多い印象</li> <li>年齢層は子供からお年寄りまで幅広い層</li> <li>主な利用目的は、遊具、芝生広場（サッカー等のボール遊び）、散歩、犬の散歩、サイクリング、ジョギング等。</li> <li>平日は午後、土日祝日は終日、記念広場を中心に混雑。但し、夏場は暑さのため夕方以降が混雑。</li> <li>人気施設は、遊具エリア、芝生広場。</li> </ul>
136,005人（令和6年度）		<ul style="list-style-type: none"> <li>江東区内の公園であること、周辺に商業施設等がないため、江東区民の来園が一番多い</li> <li>年齢層は、近隣の東雲地区や豊洲地区の再開発により、若い20代～30代の親子の利用が増加傾向</li> <li>利用目的は、園内施設が多種多様であるため、利用目的も施設利用と明確。（ニュースポーツ・ラグビー練習場・ドッグラン・バーベキュー場等）</li> <li>曜日・時間帯は、平日は周辺に公園以外ないため、閑散としている。土日祝は地域の方により賑わっている。</li> </ul>
724,198人 （令和6年度） 内訳 有明コロシアム： 402,805人、 テニスコートほか： 329,393人		<ul style="list-style-type: none"> <li>一般開放公園として開園されている園地もあるが、47面の屋内外のテニスコート、全天候型のコロシアムを有し、テニスに特化した施設。</li> <li>年間300件ほどの大会を開催しており、関東選手権、全日本選手権など大規模な大会も開催されていることから、都内外から広範囲の来場者がある。</li> <li>コロシアムを除き、テニスコートの営業時間は午前9時から午後9時までとなっており、休日に開催される大会での来場者が比較的多い傾向。</li> </ul>
約200万人		<ul style="list-style-type: none"> <li>他都立公園に比べて、地域の人が多い。</li> <li>日曜日が最多。</li> <li>キッズリアムができて、子育て世代増えた。</li> <li>ドッグラン利用者は多い。</li> <li>一番利用が多いのは、ふれあい広場。</li> <li>BBQ広場も人気。オールシーズン利用可で、行楽時期は利用時間を延ばしている。</li> <li>ランニングやテニスなど運動利用も多い。</li> <li>午前中は園児も多い。遠足利用もある。</li> <li>インクルーシブ遊具のある南の冒険広場（昨年度より）、北の冒険広場（今年度より）では、利用者数が増えたと思われる（自転車駐輪量が増えているため）。ただし、障害者などの利用が増えたかは不明。</li> <li>イベント広場、多目的広場では、柔軟な利用（イベント貸出など）ができる。</li> <li>自治体などの後援がなくても、利用目的に即していれば、広く占用許可を出しており、都立公園17園で実施している。</li> <li>毎週ではないが、週末にはキッチンカーが1、2台出店している。毎年、intree事業者を募っている。園内に2か所売店があるので、すみ分けしている。キッチンカーは、近くに公園がない場所では有効か。</li> <li>ボランティア活動は、5団体程度。</li> </ul>

## ■ 来園者から多い意見・要望等

### ● 日陰、休憩スペース

- ・東屋やベンチなどの休憩場所が欲しいとの要望あり
- ・日陰が少なく陽除け施設の要望が多い
- ・日影が少ないという声をよくいただく
- ・水辺の散歩道が気持ち良いがベンチなど滞在する場所が少ない
- ・ベンチやデッキ、テーブル等の増設に係る改善要望が多い

### ● 駐車場

- ・公園の駐車場から広場まで距離が遠く、もっと近くに駐車場が欲しいとの要望あり
- ・大会時やイベント時は既存駐車場が満車になるため、駐車場の増設要望が多い

### ● 物販・飲食機能

- ・売店や飲食サービスの充実に係る改善要望が多い
- ・周辺に売店がないため、飲食店やコンビニ等の売店の設置

公園分類	意見の分類	内容
区立公園	公園の魅力・特徴	・静かで穏やかな公園、水辺が近く気持ちが良い、カフェと景色がとても合っている ・ドッグランができてうれしい
	滞留環境	・水辺の散歩道が気持ち良いがベンチなど滞在する場所が少ない
	利便性	・乗船場の一般利用をやすくしてほしい
	日陰	・日陰が少なく陽除け施設の要望が多い
	騒音・危険	・フットサル場やラジオ体操の騒音に関する苦情が来る。 ・電動モペットやスケートボードの利用に対して危険とする声も多い。
	利用の公平性	・ボール遊びやキャッチボール広場について、連盟に所属している人が占有してしまうというクレームがある。
都立・海上公園	設備	・トイレの清潔さ、利用のしやすさの改善、売店や飲食サービスの充実、ベンチやデッキ、テーブル等の増設に係る改善要望が多い。 ・東屋やベンチなどの休憩場所が欲しいとの要望あり。 ・公園の駐車場からワイワイ広場まで距離が遠く、もっと近くに駐車場が欲しいとの要望あり。 ・周辺に売店がないため、飲食店やコンビニ等の売店の設置 ・都立スポーツ移設が2つ隣接しているため、大会時やイベント時は既存駐車場が満車になる。そのため、駐車場の増設要望が多い。 ・休憩スペースの増設（ベンチなど） →利用者が持ち込むテントの利用を可としている。（日中のみ、簡易なもののみ） 一方で、テントが増えたことに対するご意見もいただいている。 ・トイレの洋式化 ・便益施設
	日陰	・日影が少ないという声をよくいただきます。 ・じゃぶじゃぶ池に日影が必要。近隣の木場親水公園にあるじゃぶじゃぶ池は日影ができるので、そちらをご紹介したり、閉所日をずらしたりなど、相互補完できるようにしている。
	利用の公平性	・大会が多く開催されているため、相対的に一般のテニス愛好家の利用面数が少なく、予約が取りにくいというご意見を頂くことがある。
	イベント	・イベントの開催

## ■ 公園管理・運営の課題

### ● 植栽管理

- ・広場の雑草管理
- ・施設だけでなく、樹木も老木化し、こまめな管理が必要

### ● 老朽化

- ・開園して30年以上経過するため、劣化による既存施設の不具合が多い

- ・開業後40年以上経過しているため不具合が散見され、特に埋設管（給排水）に関しては増改築された建物に付随する部分であっても既設配管を使用している箇所があり、排水不良が起きている
- ・公園遊具の使用頻度が激しく、耐久年数に満たないうちに破損、修理を行っている

●施設・設備

- ・園内に散水栓の設備が少なく昨今の異常気象により灌水が追いつかず樹木など枯れが発生
- ・駐車場がなく、遠方からの利用者の受け入れをづらい
- ・事務所が狭く、使いづらい
- ・日影や休憩場所の少なさの改善

●運営・イベント

- ・遠方から来られる方はあまり多くなくイベント等でも集客が難しい
- ・周辺には住居も多く、あまり騒がしいイベントは好まれない
- ・定期ボランティアが集まりにくい
- ・平地が少なく利用できる面積に限られるため外部からのイベント等の受け入れをづらい
- ・公園内混雑等への対応

公園分類	意見の分類	内容
区立公園	維持管理	<ul style="list-style-type: none"> <li>・公園遊具の使用頻度が激しく、耐久年数に満たないうちに破損、修理を行っている</li> <li>・植栽管理について、2.3kmと園路が長いので、管理が追いつかない。基本的には年3回で除草しているが、気候変動で植物の成長リズムが変化してきている。</li> <li>・施設が老朽化しているが、修繕するための費用が足りない。公園に引き込んでいる水が汽水のため、鉄製遊具の腐食が進む。</li> </ul>
	設備	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日除け、ベンチ、給水施設の設置依頼のお話が多い</li> <li>・駐車場がなく、遠方からの利用者の受け入れをづらい</li> <li>・事務所が狭く、使いづらい</li> <li>・園内に散水栓の設備が少なく昨今の異常気象により灌水が追いつかず樹木など枯れが発生</li> </ul>
	イベント	<ul style="list-style-type: none"> <li>・遠方から来られる方はあまり多くなくイベント等でも集客が難しい（地元町会、自治会などのイベントくらいしか人があまり集まらない）</li> <li>・周辺には住居も多く、あまり騒がしいイベントは好まれない</li> <li>・平地が少なく利用できる面積に限られるため外部からのイベント等の受け入れをづらい</li> </ul>
	ボランティア	<ul style="list-style-type: none"> <li>・定期ボランティアが集まりにくい（花壇整備等）</li> </ul>
	運営面の連携	<ul style="list-style-type: none"> <li>・園内でイベントやYoutube等の撮影を行いたいといった声があるが、誰に許可取りが必要か明確でないため、指定管理者と区の連携が必要であると感じる</li> </ul>
	公園整備	<ul style="list-style-type: none"> <li>・公園利用者、歩行者、自転車利用者のゾーン分けが必要。混在しているため、危険である。</li> </ul>
	都立・海上公園	植栽管理
維持管理		<ul style="list-style-type: none"> <li>・広場の雑草管理</li> <li>・開園して30年以上経過するため、劣化による既存施設の不具合が多い。</li> <li>・施設だけでなく、樹木も老木化し、こまめな管理が必要。</li> </ul>
設備		<ul style="list-style-type: none"> <li>・東京2020オリンピック・パラリンピックの開催に伴い、大会開催に伴う大規模改修対象となった施設は比較的新しく不具合は無いが、対象とならなかった施設は開業後40年以上経過しているため、不具合が散見される。特に埋設管（給排水）に関しては増改築された建物に付随する部分であっても既設配管を使用している箇所があり、排水不良が起きている。</li> <li>・日影や休憩場所の少なさの改善</li> </ul>
地域連携		<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域連携の強化</li> </ul>
ボランティア		<ul style="list-style-type: none"> <li>・ボランティアの高齢化</li> </ul>
混雑緩和		<ul style="list-style-type: none"> <li>・隣接する有明アリーナやアーバンスポーツパークからの利用者による公園内混雑等への対応</li> </ul>
利用の自由		<ul style="list-style-type: none"> <li>・ボール遊びに対するご意見も多い（チーム練習や試合形式は禁止している） →広場をネットなどで囲う場合も、早朝・夜間に大人が利用することがある。その場</li> </ul>

		<p>合、時間管理が必要になる。</p> <p>→近くのインターナショナルスクールの子どもたちが、休み時間に大勢で遊びに来る。禁止事項や注意点を伝えるにも、文化や言語の違いからすぐに理解が得られないことも多い。</p> <p>→ボール遊びの広場を設けるにしても、どこで線引きをするかは検討が必要。</p> <p>→究極的には、使う側のマナー向上が必要となる。ハード面での対策も必要だが、周辺住民、利用者の相互理解の場を設ける必要があるのではないか。そのために、オープンハウス形式の場を設けるなどソフト面での施策や取り組みがあるとよい。また、公園の機能を地域全体で分散、補完することも必要。</p>
--	--	--

## ■ 人を呼び込むための工夫

### ● イベント等

- ・魅力あるイベントの開催
- ・散歩やランニング利用者を取り込むための早朝開園の実施
- ・東京都後援の大型野外ライブの受け入れ（年2回）
- ・花による大規模な修景や各種イベントの開催
- ・細長い公園のためそれぞれのエリアで集まりやすいようにガーデンクラブやイベントを企画
- ・水辺に1,000㎡の花の景観を作るプロジェクトを進め、公園全体で季節の花を楽しめるよう取り組んでいる

### ● 利用のしやすさ

- ・活動の“場”と間口を広げ、資機材の提供などの使いやすさを意識
- ・芝生広場を極力閉鎖せずに良い状態に保ち、快適に利用してもらうようにしている

### ● 情報発信

- ・SNS、HPを活用した積極的な情報発信
- ・団体誘致のための団体利用の手引きを配布

### ● 連携

- ・海上公園開園50周年スタンプラリーを複数の海上公園と合同で実施
- ・公園を取り巻く関係者(都立スポーツ施設や区立公園の指定管理者)と連携し、イベント等の情報を相互で発信
- ・隣接する公共施設管理者との連携に力を入れている
- ・隣接する公共施設管理者と連携し、子ども向けのガーデンイベント等を行っている
- ・周辺企業やエリア協議会、町会自治会及び江東区施設との連携に力を入れている
- ・公園の花の景観づくりを地域の方と共にガーデンクラブ活動として行い、手入れをしたりする活動を通じて景観の質の向上とコミュニティづくりを両立
- ・教育活動として植物の基本的な育て方を伝えたり実践したりする講座や、地域に出向いて子どもたちが植物を育てる体験をする機会を提供

### ● 地域住民への配慮

- ・公園として周辺住民との共存には相当の配慮をしており、毎月マンション自治会にイベント施設の予定表を送って共有を図っている
- ・地域住民の方達との交流を大切にしている

公園分類	意見の分類	内容
都立・海上公園	イベント	<ul style="list-style-type: none"> <li>・魅力あるイベントの開催</li> <li>・散歩やランニング利用者を取り込むための早朝開園の実施</li> <li>・令和7年11月8日から海上公園開園50周年スタンプラリーを複数の海上公園と合同で実施。</li> <li>・東京都後援の大型野外ライブを年2回受け入れ。</li> <li>・団体誘致のための団体利用の手引きを配布</li> </ul>
	情報発信	<ul style="list-style-type: none"> <li>・SNS等を通じた積極的な情報発信、地域連携、イベント開催等、様々な取組を通じて、公園の魅力発信と賑わい創出を図っている。</li> </ul>

		<ul style="list-style-type: none"> <li>・公園を取り巻く関係者(都立スポーツ施設や区立公園の指定管理者)と連携し、イベント等の情報を相互で発信。</li> <li>・区報掲載による広報力を利用している。 →イベントなど来園者の多くが区報で情報を得ている。</li> <li>・各都立公園でX、HP、園内掲示を利用した情報発信。</li> <li>・東京メトロや都営地下鉄での広報依頼。(メトロについては、これまでの関係性による部分も大きい)</li> </ul>
	連携	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の団体や企業との連携も大切にしている。</li> </ul>
	地域住民への配慮	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日本テニス界の象徴的な施設と認識されているため、テニスに関する来場者増加につながる取組は積極的に講じていないが、公園として周辺住民との共存には相当の配慮をしている。</li> <li>・特にイベント施設であるコロシアムは毎月マンション自治会に予定表を送って共有を図っている。</li> </ul>

## ■ 近年の公園整備や管理・運営、活用に関するトレンド・ニーズ

### ● インクルーシブ対応

- ・地域特性を踏まえた慣習が違う外国人への公園利用に係るルール・マナー等の周知・徹底
- ・多言語化対応
- ・だれでもトイレやインクルーシブ遊具などの導入

### ● DX化

- ・人手不足・管理費削減のためのDX化
- ・ドローンを使用した巡回・管理、撮影利用等
- ・AIを活用した利用者の動向把握や施設の不具合判定等
- ・施設申込のデジタル化

### ● 官民連携・住民参加

- ・国営公園で予定されているコンセッション方式の導入
- ・利用したい人達は多くいるため、企業連携をし易い様な工夫（会社名の掲載PR など）を図る
- ・公園単体の管理より、売店や飲食店など公園だけにとどまらない官民共同の管理形態がニーズに沿っていると感じる
- ・公園に参加できるコンテンツがあることで利用価値が上がり、生活の質の向上にも寄与できる場となる

### ● ターゲット層

- ・子ども向け施設が充実した遊具広場と静かに過ごせる場など利用者自線でのエリア分
- ・中間層（中学生～若年層の大人）が来園してくれる公園づくり
- ・子育て世代やリタイヤ世代などが気軽に交流できる場として公園を活用するにあたって、多目的ルームや日陰など滞在しやすいスペースがほしい
- ・自然に囲まれ長時間のんびりと過ごされる方が多い
- ・花の見ごろ時期など季節料金の導入

### ● まちと公園

- ・公園の存在が高まることで周辺の資産価値が上がっている
- ・公園＝緑植栽管理を充実させることが必須と感じる
- ・緑の質が高いことはもちろん、公園の運営が公園の価値を左右する
- ・一年草を植え替えるのではなく多年草を中心としたガーデンに移行し、花を消費財として扱うのではなく、自然環境にそった植物を選び、管理手間を抑えながら花の景観を楽しめるように

公園分類	意見の分類	内容
区立公園	官民連携、住民参加	・利用したい方達は多くいるため、企業連携をし易い様な工夫（会社名の掲載PR など）をするともっと活用してもらえらる事が増える
	利用しやすい空間	・子育て世代やリタイヤ世代などが気軽に交流できる場として公園を活用するにあた

		<p>って、多目的ルームや日陰など滞在しやすいスペースがほしい（雨天や炎天下を避けられると企画しやすい）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自然に囲まれ長時間のんびりと過ごされる方が多い</li> <li>・お子さんや施設が充実した遊具広場と静かに過ごせる場など利用者自線でのエリア分け</li> </ul>
	植栽管理	<ul style="list-style-type: none"> <li>・公園＝緑植栽管理を充実させることが必須と感じる</li> <li>・一年草を植え替えるのではなく多年草を中心としたガーデンに移行。花を消費財として扱うのではなく、自然環境にそった植物を選び、管理手間を抑えながら花の景観を楽しめるように（植栽設計の定期的な見直し、手入れは必要）</li> </ul>
	維持管理	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ナチュラルスティックガーデンの導入により、宿根草を主体とし一年草を組み合わせながら、過度に手を加えない省力的で自然な景観管理を実施している。</li> </ul>
	地域連携	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ボランティアの方が花を整備している箇所があり、管理者と地元住民が協働して公園を整備するようになった。</li> </ul>
	イベント	<ul style="list-style-type: none"> <li>・園内のイベント開催も増えている。公園の周辺にインドの方が住んでいるなど、居住者も多国籍である。クリケットやモルックなどのスポーツをやりたいという人が多い一方で衝突もある。</li> </ul>
	まちと公園	<ul style="list-style-type: none"> <li>・公園の存在が高まることで周辺の資産価値が上がっている</li> <li>・緑の質が高いことはもちろん、公園の運営が公園の価値を左右する。公園に参加できるコンテンツがあることで利用価値が上がり、生活の質の向上にも寄与できる場となる（定期的な活動、野菜販売、学びの場等）</li> </ul>
	新たな整備	<ul style="list-style-type: none"> <li>・スケートボードパークが夢の島にできたが、江東区の北部にも整備したい。スケボーパークやドッグランが欲しいというニーズが増えてきている。ただ、騒音の問題もある。</li> </ul>
	教育活動	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保育園による運動会利用など、教育・保育目的での公園活用も増えている。</li> </ul>
都立・海上公園	DX化	<ul style="list-style-type: none"> <li>・施設申込のデジタル化などDX化。</li> </ul>
	官民連携	<ul style="list-style-type: none"> <li>・公園単体の管理より、売店や飲食店など公園だけにとどまらない官民共同の管理形態がニーズに沿っていると感じる。</li> </ul>
	多様な利用	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域特性を踏まえた慣習が違う外国人への公園利用に係るルール・マナー等の周知・徹底</li> <li>・中間層（中学生～若年層の大人）が来園してくれる公園づくり</li> </ul>
	維持管理	<ul style="list-style-type: none"> <li>・人手不足・管理費削減のためのDX化（自動草刈り機・入園者のカウントシステムを導入済）</li> <li>・ドローンを使用した巡回・管理</li> <li>・国営公園で予定されているコンセッション方式の導入</li> <li>・季節料金の導入（花の見ごろ時期など）</li> <li>・ネーミングライツの導入</li> </ul>
	設備	<ul style="list-style-type: none"> <li>・だれでもトイレやインクルーシブ遊具などの導入</li> </ul>
	地域連携	<ul style="list-style-type: none"> <li>・都パークマネジメントマスタープランをR6に改定。</li> <li>→地域連携の推進→公園でやってみたくことを募り、イベントの開催を行っている。パークコーディネーターと各公園センターで企画、調整している</li> <li>→公園で開催するとふらっと立ち寄ってくれる人、参加してくれる人がいる。先日開催していた東陽グリーンフェスタもそれに近く、地域密着の良いイベントと感じた。</li> </ul>

## ■ 区立公園から見た、都立公園との差別化、力を入れている取組

### ● 地域連携・コミュニティ形成の強化

- ・地域住民との交流を重視し、ガーデンクラブ活動やボランティア参加を通じてコミュニティづくりを進めている。
- ・青少年交流プラザや周辺企業、エリア協議会、町会自治会と連携し、地域資源を生かした公園運営を実施している。

### ● 公園特性を生かしたイベント・交流の企画

- ・細長い公園形状（大島～亀戸）を踏まえ、各エリアで集まりやすいイベントやガーデンクラブ活動を企画。
- ・子ども向けのガーデンイベントなど、地域の教育機関・施設と連携したプログラムを展開。

### ● 緑地景観の創出・維持の高度化

- ・水辺に1,000㎡規模の花景観を創るプロジェクトを推進し、公園全体で季節の花を楽しめる環境を整備。
- ・地域住民と協働し、種まきや手入れを通じたガーデンクラブ活動を実施し、景観向上とコミュニティ醸成を両立。

・植物の育て方を伝える講座や子どもの体験活動を提供し、教育的価値を高めている。

● **利用しやすさ・快適性の向上**

・芝生広場を極力閉鎖せず、良好な状態で維持し、多様な利用を受け入れている。

・活動の「場」と間口を広げるため、資機材提供など使いやすさに配慮。

● **多様なアクティビティの提供**

・バウンドネットなど多種類の運動施設を備え、「運動×公園」の融合した利用形態を推進。

・カヌー・カヤック指導など、水辺の特徴を活かした体験活動を実施。

・コイの池の水質改善や環境整備など、公園固有の魅力を高める取り組みを実施。

● **環境・気候への適応**

・将来の気候変動を見据え、日陰空間の重要性を認識し活用を進めている。

公園分類	意見の分類	内容
区立公園	地域連携	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域住民の方達との交流を大切にしている</li> <li>・資料館が隣接しており、江東区施設管理者との連携に力を入れている</li> <li>・周辺企業やエリア協議会、町会自治会及び江東区施設との連携に力を入れている</li> <li>・活動の“場”と間口を広げ資機材の提供などの使いやすさを意識</li> <li>・芝生広場を極力閉鎖せずに良い状態に保ち、快適に利用してもらうようにしている</li> <li>・公園の花の景観づくりを地域の方と共にガーデンクラブ活動として行っている。花を種から育てたり、手入れをしたりする活動を通じて景観の質の向上とコミュニティづくりを両立</li> </ul>
	イベント・プロジェクト	<ul style="list-style-type: none"> <li>・亀戸エリアでは教育関連施設と連携し、子ども向けのガーデンイベント等を行っている</li> <li>・大島から亀戸まで細長い公園のため大島、亀戸それぞれのエリアで集まりやすいようにガーデンクラブやイベントを企画している</li> <li>・水辺に1,000mの花の景観を作るプロジェクトを進め、公園全体で季節の花を楽しむよう取り組んでいる</li> <li>・カヌー・カヤックの指導を園内で行う。</li> </ul>
	教育活動	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教育活動として植物の基本的な育て方を伝えたり、実践したりする講座や地域に出向いて子どもたちが植物を育てる低験をする機会を提供</li> </ul>
	設備・環境	<ul style="list-style-type: none"> <li>・バウンドネットの設置など、様々な種類の運動施設を内包しており、運動と公園の融合が特徴といえる。</li> <li>・今後は日影が貴重な場になってくるため、重宝されるだろう。</li> <li>・コイの池があるのも特徴。管理当初に池の水を抜き、水質を改善したことで、コイの生息環境を整えた。</li> </ul>

■ **その他意見**

公園分類	内容
区立公園	<ul style="list-style-type: none"> <li>・職員常駐や講習などで使用出来る施設（箱もの）を整備して頂きたい</li> <li>・（フェースフリー）給（排）水設備、管理の為に散水施設が少ない（一部ではない）</li> <li>・上記と同様に電気についても各所で引き込みが出来る様整備してほしい</li> </ul>
区立公園	<ul style="list-style-type: none"> <li>・年数の経った公園施設の更新や再整備について計画的に考えてほしい</li> <li>・フェースフリーを意識した給排水設備、管理の為に散水施設が少ない（一部ではない）</li> <li>・上記と同様に電気についても各所で引き込みが出来る様整備してほしい</li> </ul>
区立公園	<p>【区民農園】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・4月に開園した砂町区民農園は、地元の人に協力を得ながら、コンポストを整備した。木くずやコーヒーかすなどを地域の店舗で提供いただきながら、たい肥を地域で循環利用し、区民農園単位で良いサイクルが回っている。</li> <li>・大規模でなく、一つ一つの小さな公園でサイクルを回すことができると良い。試験的にこの事業が始まれば広まってくるのではないかと。</li> <li>・契約していなくても農園を利用できる公園や、1日だけ利用できる農園など、現状と異なるかたちの体験農園が区内にできると良い。</li> <li>・プレーパークと絡めて子どもの農体験の場として整備することはできたら。</li> <li>・コンポストに入れるものについては、ゴミなど目に見えるものは取り除いているが、成分的な部分は詳細には管理できていない。手作りのたい肥のため、不安であれば使わないよう呼びかけはしている。</li> <li>・公園でコンポストを作るためには不法投棄の恐れを考慮するとフェンスが必要である。</li> </ul> <p>【管理について】</p>

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・指定管理に限らず、区が定めるエリアで公園ごとの方針があると良い。原っぱ事業のように、整備事業と公園活用の業務をセットにしているとやりやすい。</li> <li>・Park-PFI導入のポテンシャルがある公園は湾岸地区くらいだろう。亀戸中央公園、旧中川水辺公園、豊洲ぐるり公園もできるかもしれない。</li> <li>・それぞれの地区で求められる施設も異なる。土地柄を見ながら提供できるものを考えていく必要がある。</li> <li>・包括管理について、ある程度大きい単位で管理する方が、計画も立てやすく、一体で管理ができる。また複数年契約でできると良い。</li> <li>・湾岸地区や深川地域は包括管理の導入を検討する余地はあると思う。本拠地がある事業者がエリアを管理できると、緊急の際にも早く対応でき、良いと思う。江戸時代の地名をエリア分けの根拠にすることも考えられる。</li> <li>・指定管理と包括管理のどちらにせよ、区と連携していきたい。</li> </ul> <p><b>【公園利用者のニーズや課題】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもの経験格差問題が多いが、身近な施設を低価格で使えることが子どもたちにとって意義がある。場を提供することが大切である。</li> <li>・大きい公園であれば野球場を活用してドッグランなどとして利用しても良いのではとも思う。</li> <li>・インクルーシブ遊具は、現状ではあまり普及が進んでいない。</li> </ul>
都立・海上公園	<ul style="list-style-type: none"> <li>・計画期間も重要となる。将来の人口動向や社会状況によって公園の役割やニーズも変わってくる。目先の計画とせず、中長期的な検討が必要。</li> <li>・「〇〇をしたいなら、〇〇公園へ」とできる地域全体での計画が必要では。</li> <li>・公園は、人や場面のつながりをつくる場であり、みどりがあることでなじみやすい環境となっている。また、多様な人が、それぞれを補完しあう場でもある。</li> <li>・使う側が責任を持つことも大切。他の人の立場で考える場や、親子ワークショップなど、こどもの成長に応じて公園に求めることが変わってくることも認識してもらえるとよい。</li> </ul>

## 公園マスタープランに関するヒアリング調査 活動団体ヒアリング結果まとめ

### 1. 調査の概要

- (1) 目的：利用者が「楽しい」「訪れたい」と感じられる魅力ある公園づくりを進めるための「（仮称）江東区公園マスタープラン」策定にあたり、実際に江東区の公園やみどりに関する活動に関わる団体等の意見を把握し、今後の公園整備や管理運営の取組み検討の参考とする。
- (2) 方法：グリーンコミュニティ会議のメーリングリスト宛にアンケートの協力を依頼。「（仮称）江東区公園マスタープラン策定委員会」の委員でもある「マザーツリー自然学校」、「こうどうプレーパーク」については対面にてヒアリングを実施。
- (3) 対象：グリーンコミュニティ会議の参加団体
- (4) 期間：令和7年11月下旬
- (5) 回収数：9件
- (6) 主な内容：(1) 主な活動内容  
(2) 活動を行う上での課題  
(3) 行政・区民・事業者の連携による公園の利活用のアイデア  
(4) 江東区内の公園に関する意見・要望

### 2. 結果まとめ

#### ■ 主な活動内容

・マルシェやワークショップ、自然体験活動、コミュニティガーデンなど、多様なイベントや活動が各団体で実施されており、活動頻度や参加人数は団体ごとに異なるが、年数回から月数回、数名から数十名規模で行われている

団体	主な活動公園	活動頻度 (活動人数)	内容
1	越中島公園、潮見しづさわ公園、豊洲公園・豊洲ぐるり公園等	年、各公園ともに1～2回程度 (活動内容により変動)	・マルシェへの参加、見学ツアー、モニタリング、社会実験等
2	汐浜運河前の公開公園（民間敷地）	マルシェ等：年2回（多数） GI関連：月1回程度 (10名程度) その他臨時的イベント適宜（コンテナカフェ（外部事業者）週5～6日営業）	・水辺のにぎわい創出や地域コミュニティ醸成を目的としたマルシェ等のイベント開催 ・グリーンインフラの導入・整備
3	木場公園、江東区役所・新木場駅前・清水建設ノバーレ など	月に3回程度 (1回当たり5人～40名程度)	・コミュニティガーデン活動のアドバイス ・花壇のお手入れの仕方やお楽しみ会のノウハウ、企画など
4	東陽公園・木場公園	年2回 (10名程度)	・グリーンフェスタへの協賛・出店（竹細工教室） ・江東区民まつりへの協賛・出店（竹細工教室）
5	東陽公園、木場公園	年6回（71名程度）	・コミュニティガーデンの支援 ・グリーンフェスタ、区民まつりなどのイベント参加 ・研修会、見学会の開催
6	越中島公園 及び小名木川遊歩道	越中島公園：年2～3（各回20名） 小名木川遊歩道：年10回程度（2～4名程度）	・越中島公園：マルシェなど ・小名木川遊歩道：ゴミ拾い
7	大島9丁目公園、木場公園、猿江恩賜公園	月に1回（スタッフ5～25、参加者20～400名程度）	・プレーパーク活動

8	都立：木場公園・夢の島公園・猿江恩賜公園・亀戸中央公園・清澄公園・辰巳の森緑道公園 区立：豊瀬I公園・南砂3丁目公園	年に150回程度（13名）	・自然体験活動・自然教育・環境教育（乳幼児親子、幼児、親子、大人）
9	東京ガスパビリオン ガステナーに敷地内	週1のメンテナンス、月1回のギャザリング回程度（10～15名程度）	・コミュニティガーデンHACO畑の運営

### ■ 活動を行う上での課題

- ・イベント開催や活動のための予算確保、備品の保管場所、スタッフ確保、近隣対応、敷地所有者との調整、許認可手続きなど、運営面での課題が挙げられている

意見の分類	内容
公園・企業緑地の連携強化によるエリア全体の魅力向上	<ul style="list-style-type: none"> <li>・エリア全体の魅力向上につなげていく余地がまだまだ多い。</li> <li>・区立公園はまちづくりの拠点として、公園内部の取り組みをはじめ、周辺エリアの企業や市民の民間活動との相乗効果を狙った連携活動に力を入れてほしい。</li> </ul>
既設公園の柔軟な運用	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域ニーズを踏まえた参加型の整備を進め、柔軟な運用を進める。</li> <li>・例：越中島公園：区・NPO・市民団体・企業が協働しネイチャーツアー・野草展示等を実施。</li> <li>・生物多様性やスマートシティなど、より未来志向が求められる社会課題に対して、官民連携でより先進的な運用を探索する。</li> </ul> <p>例：生物多様性に関して、公園＋周辺緑地での参加型モニタリング → 管理にフィードバック スマートシティに関して、低速モビリティの導入、モビリティハブの公園内設置 等 → 公園管理者判断で柔軟な運用ができる仕組みがあるとよい。</p>
イベント実施・協議会運営における課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・イベント開催費用（什器備品の購入、レンタル）、GI等環境整備や施設維持管理に関わる費用の協議会としての予算確保（民間敷地内なので償却資産税発生、みどりのほかウッドデッキ、トイレ、水、電気など諸々。また企業協賛への依存の割合が大きい）</li> <li>・近隣対応（案内周知、音の問題など）</li> <li>・敷地所有者との調整。</li> <li>・関係機関の許認可等、調整や届出が分かりにくい。申請方法や考え方、注意点などを分かりやすく整理し、利用者に開かれた情報として提供していくことが重要。</li> </ul>
ボランティア・市民活動に関する課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コミュニティガーデンとの連携を進める上で、個人情報保護が障壁となる場面が多々ある。</li> <li>・活動拠点となるような場所が出来ると良い。</li> <li>・コミュニティガーデンは90ヶ所を超え、地区での活動の盛り上げや、地域との連携がこれからの課題になる。</li> <li>スタッフの人員確保。運営スタッフが少ない。</li> <li>・活動予算が少ない、備品置き場がない。（スタッフ自宅保管や団体の隔に間借りしている。）</li> <li>・運営スタッフの確保が困難。</li> <li>・プレーパークの価値理解が広がっていない。</li> </ul>
運用課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・水道栓が花壇から離れており不便。</li> <li>・ゴミの処分。</li> <li>・竹細工は、竹を切る際の音や、削りカスなどの散乱が周囲の店舗や来場者に影響する可能性。</li> <li>・自然環境そのものの限界。（自然度が十分でない、公園管理との調整）</li> <li>・気候の影響。（夏季の猛暑による活動のしにくさ）</li> </ul>

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・公園利用者同士の調整。</li> <li>・安全管理・リスクマネジメント。（年齢差が大きい子への対応、樹木等の剪定の仕方）</li> <li>・公園のルールが厳しい。</li> <li>・民間地のため、継続的な活動ができるかの不安がある。</li> <li>・資金調達（2023・4年は補助金を利用、民間企業から敷地を無料で借りていることもあり、参加費等を徴収できず個人負担となっている）</li> </ul>
関わりやすい環境の整備	<ul style="list-style-type: none"> <li>・公園の価値を高めるため、指定管理者や行政だけでなく、地域の住民・事業者など多様な区民が関わりやすい環境を整えることが欠かない。「誰もがプレイヤーになれる公園」として開かれていくことが、活気ある利用促進につながると考えている。</li> </ul>

## ■ 連携による公園の利活用のアイデア

### ● 公園の新たな価値創出

- ・公園と水辺の連携や、スマートシティの観点からの新しいサービス導入（モビリティハブ、来園ポイント制度など）
- ・公園を「地域と水辺を結ぶハブ」として活用し、回遊性や交流の促進を目指す

### ● 子ども・市民参加の促進

- ・プレーパークや自然体験活動を通じて、子どもが安心して遊べる場や、地域住民が主体的に関われる環境づくり
- ・公園を「地域の学びと育ちの場」として位置づけ、多世代交流や健康寿命の延伸に寄与

意見の分類	内容
公園を核とした参加型まちづくり	<p>【多様な主体の協働を促す仕組みづくり】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「グリーンコミュニティ会議」が、公園を核とした協働プラットフォームとして機能し始めている。</li> <li>・区立公園を起点に、地域の多様なステークホルダーが連携し、ワークショップ・まち歩き・社会実験等の地域連携が進んでいくと良いと考えている。</li> <li>・越中島・潮見など自社施設のあるエリアでグリーンインフラの地域共創を進めている。</li> <li>・公園と企業の連携をより深め、エリア価値向上につなげていきたい。</li> </ul> <p>【オープンスペース活用の地域連携強化】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・豊洲エリアでは（一社）豊洲スマートシティ推進協議会がオープンスペース活用促進プラットフォームを国交省事業にて推進中である。</li> <li>・地域住民や公園の指定管理者とのワークショップで、公園を含む地域のオープンスペースの利活用に関するアイデアを収集予定。</li> <li>・地域発アイデアが公園で実施できるよう、公園側の後押し・利用料減免（非収益事業）などの配慮も期待している。</li> </ul>
水域と連携した公園の活用	<ul style="list-style-type: none"> <li>・区内には、公園や民間緑地沿いに運河や河川がネットワーク化されており、CIG推進において活用のポテンシャルが大きい。公園敷地内の水辺に加えて、水域と連携した公園の活用についても検討していけるとよい。</li> <li>・公共空間（特に水辺空間や護岸）と民間敷地の空間整備・利用の連続性確保。</li> <li>・公園を単独の空間として捉えるのではなく、「街や人とのつながり」を意識した使い方が重要。公園を「水辺の入口」として公園と水辺が連動する仕組みを整備することで散策・舟運を含めた回遊性が高まり、新たな交流が生まれる可能性がある。</li> <li>・他自治体の「かわまちづくり」や「かわてらす」のように、公園を「地域と水辺を結ぶハブ」として捉えることで、多主体が関わる多様な活動が生まれ、魅力向上につながると考える。</li> <li>・江東区の歴史資源（例：ゴミ問題との向き合い）を生かした廃材ワークショップなど、「江東区らしさ」の表現にも活かせる。</li> </ul>
グリーンインフラ・ガー	<ul style="list-style-type: none"> <li>・緑の維持管理の連携を行う。</li> </ul>

<p>デン活用と地域共創</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 江東区内の運河ルネサンスやコミュニティガーデンなどみどりの活動のネットワーク連携を図る。</li> <li>・ 区立公園での落ち葉や植え替えの際に発生する抜き取った苗などをできるだけ公園内で土に返すためのノウハウの確立をする。</li> <li>・ 企業にお勤めのみなさんの社会貢献と健康のためにガーデニングを取り入れる。</li> <li>・ 福岡市の一人一花運動のような取り組み「花でまちづくり」花をツールとしてつかい、グリーンジョブを増やす。企業の協力体制などスポンサーが集まる地域性もある。</li> <li>・ まちの景観美化が安心安全なまちづくりにつながり、区民の健康寿命を延ばすことにつながるというアピールができればよい。</li> </ul> <p>例：恵庭市 公園に暮らしの保健室をつくり、拠点とすることを目指す取り組み 新潟県見附市 「みつけイングリッシュガーデン」の取り組み 武蔵大学のサステナビリティ学科の屋上での循環型コミュニティガーデンの取り組み</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ コミュニティガーデンを核とした公園の活用を行う。</li> <li>・ 公園資源の有効活用・循環（剪定枝や落ち葉などの意図的ストックがある）をする。</li> <li>・ “ゆい管理”により、こどもが遊べる部分を残す。</li> <li>・ 公園を自然体験や自然学習の“生きた自然フィールド”とする。</li> <li>・ 公園内にふらっと立ち寄れる自然系施設をつくる。（親子の居場所、地域コミュニティ）</li> <li>・ NPO と協働し、公園活動の充実化を行う。</li> </ul>
<p>子どもの育ちを支える公園（プレーパーク等）</p>	<p>例：プレーパークせたがや（日本の元祖。常設、地域が面的に繋がる、橋渡し的な役割を持つプレーパーク） 品川・そとぼーよ（常設、移動式プレーパーク） 練馬・PLAYTANK おひさまびよびよ（乳幼児版プレーパーク、子育て世代の母親の雇用創出） 豊島WAKUWAKU ネットワーク（公園で見かけるちよと気になる子どもを真ん中に、社会がその子を助ける仕組みを構築） 川崎こども夢パーク（様々な境遇の子どもの居場所として、地域のセーフティネットとしての役割）</p>
<p>エディブルガーデン（食×公園）の可能性</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 食べられるものを育てられるコミュニティガーデンがあるといい。食は全ての人に関係することであり、教育、福祉、防災など多面的な機能をもっており、公園の有効性をさらに向上させる。</li> </ul> <p>例：渋谷区/原宿はらっぱファーム、ササハタハツファーム 世田谷区/2024年度より公園内で食べられるものを育てることを解禁、現在2箇所を実施 大田区/羽田空港第1ターミナルの跡地の公園内にファームを計画中 品川区/2024年区役所の屋上に子どもたちの収穫体験の為のファームを開園 東京都/小金井市わくわく市民農園を運営 兵庫県神戸市/エディブルガーデンを市内に複数箇所設置"</p>
<p>教育・体験・サービス導入による価値向上</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 学校や地域団体と協力し、生きもの調査、樹木の管理体験、ビオトープの保全などを行う。</li> <li>・ カフェキッチンカー、レンタサイクル、ワークアウト器具の設置など、民間の力を活かしたサービス導入。</li> <li>・ 来園促進・利用者数の底上げ、利用者データ取得による公園運営の高度化を目的とした来園ポイント制度の導入。</li> </ul>

## ■ 区内の公園に関する意見・要望

- ・コミュニティガーデンの拡大や活動拠点の確保、行政との連携強化などが要望されている
- ・公園や企業緑地の連携を強化し、エリア全体の魅力向上を目指す意見が多く見られ、特に、既設公園の柔軟な運用や、民間活動との相乗効果を狙った取り組みが期待されている
- ・公園を核とした参加型まちづくりや、地域の多様な主体が協働するプラットフォームの構築が求められている

意見の分類	内容
行政や多様な主体との連携強化	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 民間敷地内の公共的施設の規制緩和、維持管理費用への行政補助。</li> <li>・ 公園の幅広い利用を考えた場合、土木部のみではなく、地域振興部、こども未来部、福祉部など、区役所の他部署との連携が必要になると思う。色々な視点から、検討や制度設計が進むことを期待している。</li> <li>・ 過密な人口のなかで、緑の役割は重要である。土と離れて暮らす人が多いので、公園は貴重なスペース。自ら自然と関わる人が増えるようにしたい。市民活動が盛んなので、応援してもらえたらいいと思う。</li> <li>・ 江東区の公園がより魅力的な場所になるためには、行政・指定管理者・住民・事業者が対話しやすい「開かれた公園運営」が重要だと感じている。</li> </ul>
エリア全体や地域の魅力向上	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 江東区は水辺に恵まれた地域であり、公園と川・運河・親水空間が一体となった活用ができると、回遊性が向上し、街全体の魅力づくりにもつながる。散策、舟運、自然遊び、マルシェなど、多様な活動が公園を起点に広がることを期待している。</li> <li>・ 区民農園があるが、全体的に少ないので、景観美化と絡めてお野菜などもたのしめるポタジェなどを進められたら良いと思う。</li> </ul>
既設公園の柔軟な運用・インクルーシブ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 公園の利用ルールや申請方法が分かりやすく整理され、多様な区民が公園づくりに関わりやすくなることで、「自分たちの公園」という意識が生まれ、地域に根づいた活用が進むと思う。</li> <li>・ ここ数年、区内でもさまざまな自治体が食べられるものを育てるコミュニティガーデンをはじめている。食べられるものを育てることを解禁することにより、コミュニティガーデンが増え、みどりと親しむ人が今以上に増えることを願う。</li> <li>・ 公園はみんなのもの。そこに集う人たちの憩いの場であり、癒しの場であり、楽しい場であることを願う。多種多様なニーズにフレキシブルに対応でき、許容できる場であることを望む。</li> <li>・ 固定遊具一辺倒ではなく、自然素材で遊ぶゾーンや、地面の多様性（芝・草地・土）、地形（ほんの少しの斜面・凸凹）、季節を楽しめる仕掛け（木の種類、実のなる木）、木陰など、多様な年齢が満足できる多様な公園づくりができれば楽しいと思う。</li> <li>・ 公園は子どもが創造性を育む大切な場所でもある。安全に配慮しつつ、子どもが主体的に遊んだり、地域団体や住民と自然に交流できる環境が整うことで、公園は「地域の学びと育ちの場」としてより豊かな空間になると考える。</li> <li>・ 子どもの徒歩圏に、子どもが安心して「行きたい」と思える空間をつくれるように、母親として、自分の子どもを含む、近隣のすべての子どもが健やかにのびのびと育つ場所でありますように、願ってやまない。たくさんのキラキラした思い出が、子どもたちの記憶の中に、地域の公園とともにありますように。都会の中の「ふるさと」のような、あたたかいものでありますように。</li> </ul>